



中村 博美 議員

質問

「地域のこれから」に多くの市民が参加できる組織作りを！

答弁

地域住民の方々との意見交換会を重ね組織作りにより全力で取り組む

中村議員の質問動画



議員

令和4年4月に立ち上げた「常総市地域コミュニティ基本指針」の意見交換会がスタートしたが、令和4年9月18日の大生地区、坂手地区の出席人数と意見交換会の実施方法とそその様子を問う。

市民生活部長

大生地区は小学生から70代までの15名、坂手地区は40代から80代までの23名の方が参加。実施方法は、武蔵野大学、淑徳大学から2名の教授を呼び「地域住民がまちづくりの主役であること、地域住民及び各種団体の繋がりの重要性について」の講演を行い「地域の関心ごと」及び「暮らしたいまち」をテーマにグループでの意見交換会を実施した。

その様子は和やかな雰囲気の中、大生地区では、住民同士の助け合いや繋がりの強化、情報を共有化する必要性、災害に強いまち、子育て環境の充実、飲食店等の充実、観光の促進等の意見があり、坂手地区では、地域住民同士の繋がりの強化、住みやすさや利便性の向上、イベントや公園の活性化、安

全安心できれいなまち、外国人住民とのコミュニケーションの深め方等の意見があった。

また、今回の意見交換会を時期を空けずに継続してほしいとの要望が出た。

議員

地区により様々な意見が出ていますが、参加者が少ないと思う。参加者が増えるよう創意工夫をしてほしい。また、ひとつの例だが、市の支援として、まちなかや道の駅を花でいっぱいにするために花の種や苗等の現物支給などを考えているか問う。

市民と共に考える課長

地域住民との意見交換会を重ねまずは地域運営組織の設立に全力で取り組む。

議員

情報の共有化との意見があるが、個人情報保護法との関連を問う。

市長

地域のために個人情報をおいかに守るかという部分も考えながら取り扱いも含めて前向きに検討する。意見交換会の参加人数が大変寂しい状況のため議員の協力も求む。



風野 芳之 議員

質問

多くの思いのある体育館・武道館の解体決定。その後の活用は

答弁

交流センター専用駐車場を整備新たな武道館の建設予定はない

風野議員の質問動画



議員

石下体育館、武道館の解体が決定された。解体後は、駐車場として整備するとしているが詳細について伺う。

教育部長

現在、解体工事に向け実施設計を行っている。今年度中には解体工事に着手予定である。解体後は、交流センターの専用駐車場として整備する計画であり、新たな武道館建設の予定はない。

議員

当市出身の鈴木桂治氏が監督を務める、柔道全日本代表チームの合宿地として受け入れの考えはあるか伺う。

教育部長

全柔連からの正式な要請はまだない。代表チーム合宿を受け入れるには、会場は石下総合体育館と考えるが、畳の確保等の課題がある。しかし、これが実現すれば、子どもたちや市民に夢の世界を提供できるので、前向きに検討したい。

議員

市民の方々も便利に利用している、地元野菜の販売所の対応はど

うなるか伺う。

教育部長

既に移転については協議しており、一時移転先も検討するなか、整備後の出店場所についても他の店舗の出店も含め協議している。

議員

消防団員の操法訓練の場としての舗装された場所が必要かと思うがどのように考えているのか伺う。

教育部長

整備後の駐車場は、イベント広場としても視野に入れており、貸し出しは可能だが、交流センター専用駐車場との位置づけのため貸し出しには、調整・協議が必要となる。

議員

整備される駐車場と東側の公共用地が江連用水路で分断されている。現在の橋では、東西の往来に狭すぎる。拡幅を含め交渉を願う。

教育部長

整備することで往来が増えることが予想される。また、A1まちづくりの拠点となる場所でもあるため交通量や利用状況を確認しながら関係部署と協議していく。